

じわじわ

07

エレクトロクロミック・ディスプレイ

Electrochromic Displays

新緑から褐色へと表情を変えていく葉っぱ。実はこれ、ディスプレイなんです。樋口昌芳博士が設計した、電気を流すと色が変化していくポリマーでできています。

注目はなんといっても、“じわじわ”と変わりゆく色のにじみ。ピクセルがきっちり並ぶ液晶ディスプレイとは違って、ポリマーの中には色の変化を担うイオンがあちこちに散らばっているから、ホンモノの葉っぱさながらに“じわじわ”紅葉していきます。しかも、ポリマーから電極まで柔らかい材料を組み合わせでできているので、折り曲げたり穴をあけたりと加工性もバツグン。アート界も大注目の材料です。



わずかな電気を流すだけで色がゆっくり変化していき、逆向きに電気を流すともとの色に。電気を切ると色ついた状態がキープできる。多摩美術大学、早稲田大学と共同で開発。

ディスプレイの構造

